

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月10日

上場会社名 株式会社フルッタフルッタ

上場取引所 東

コード番号 2586 URL <https://www.frutafruta.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員CEO

(氏名) 長澤 誠

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員CFO

(氏名) 山田 通徳

TEL 03-6272-3190

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,646	—	58	—	237	—	148	—
26年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	162.74	152.63
26年3月期第3四半期	—	—

(注) 1. 当社は平成26年3月期においては四半期財務諸表を作成していないため、平成26年3月期第3四半期の数値及び平成27年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

2. 当社は平成26年10月3日付で1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

3. 当社は平成26年12月17日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しているため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から当第3四半期会計期間末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	2,587	1,146	44.3	1,135.54
26年3月期	1,630	611	37.5	672.13

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,146百万円 26年3月期 611百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,657	27.3	100	△59.3	293	22.6	171	11.8	182.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は平成26年10月3日付で1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	1,009,400 株	26年3月期	909,400 株
----------	-------------	--------	-----------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	— 株	26年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	915,218 株	26年3月期3Q	— 株
----------	-----------	----------	-----

(注) 1. 当社は平成26年3月期においては、四半期財務諸表を作成していないため、「期中平均株式数」を記載しておりません。

2. 当社は平成26年10月3日付で1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における国内経済は、政府による金融経済政策等の効果により景気回復への動きが見られるものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減による落ち込みからの回復の遅れや物価上昇に伴う実質所得の減少、天候不順、自然災害の発生等の影響から個人消費の回復は先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、消費税増税による影響が想定以上に長期化し、円安進行に伴う更なる原材料価格高騰のなか、消費者の節約志向による慎重な購買姿勢が継続し、また、天候不順の影響もあり、厳しい状況が続きました。

このような環境下、当社は、『自然と共に生きる』という企業理念のもと、アサイー関連商品の販売拡大及びアグロフォレストリー・マーケティングの強化に向けて積極的に取り組んでまいりました。当第3四半期累計期間にアサイー新商品開発に取り組み、アサイーボウルアイス（冷凍）、アサイーフリーズドライパウダー（常温）、アサイービネガー（常温）、アサイーヌーボー（チルド）を投入し、販売商品のカテゴリー拡大と関西地区での催事出店の積極的な取り組みなど国内の販路拡大に取り組みました。当社の取り扱う“スーパーフルーツ”の代表格であるアサイーの認知度は、消費者の本物・健康・美容意識の高まりにより、天然由来で栄養素が豊富な果物として、確実に日常生活に定着しつつあると考えられます。

当社は輸入食品製造販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。事業部門別の業績は次のとおりであります。

ナショナル・ブランド事業部門（NB事業部門）に関しては、新商品発売を機に新規取引先の拡大と首都圏以外の販路拡大に注力しました。平成26年9月に実施した阪急うめだ店での催事出店など積極的な試飲プロモーションを通じ、新規顧客の獲得と導入店舗の拡大を図りましたが、夏場の天候不順等による影響もあり、計画に対して低調に推移しました。その結果、NB事業部門全体の売上高は1,570,077千円となりました。

アグロフォレストリー・マーケティング事業部門（AFM事業部門）に関しては、外食店でのアサイーデザートメニューの新規採用や大手コンビニエンスストアのPBデザートに当社アサイー原料が採用されるなど、アサイー採用企業と取扱商品の拡大に努めました。また、大手菓子メーカーへのアグロフォレストリー産カカオ豆の販売等もあり、その結果、AFM事業部門全体の売上高は817,059千円となりました。

ダイレクト・マーケティング事業部門（DM事業部門）のうち、WEB通販に関しては、アサイードリンクシリーズ等のNB飲料商品や冷凍フルーツパルプを中心に底堅く推移しております。直営店舗に関しては、ブラジルワールドカップサッカー大会開催に関連し、TV、雑誌などメディアによるアサイーや当社アサイーカフェの紹介など情報発信拠点としての機能が発揮できました。その結果、DM事業部門全体の売上高は259,800千円となりました。

営業外損益に関しましては、外貨預金の時価評価等による為替差益42,592千円、デリバティブ取引の時価評価による評価益148,613千円が発生しております。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は2,646,936千円となり、営業利益は58,971千円、経常利益は237,153千円、四半期純利益は148,940千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産に関する分析

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産の残高は、前事業年度末より956,766千円増加して、2,587,480千円となりました。流動資産の残高は、809,260千円増加して、2,344,139千円となりました。この主な要因は、有償一般募集による払込を受けたことに伴い現金及び預金が247,619千円増加、原材料及び貯蔵品が558,788千円増加したことによります。固定資産の残高は、147,506千円増加して、243,341千円となりました。この主な要因は、有形固定資産が1,646千円増加、投資その他の資産が148,647千円増加した一方で、減価償却が進んだことにより無形固定資産が2,788千円減少したことによります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末より421,794千円増加して、1,441,269千円となりました。流動負債の残高は、447,604千円増加して、1,253,342千円となりました。この主な要因は、資金調達により短期借入金が400,000千円増加、1年内返済予定長期借入金が122,756千円増加したことによります。固定負債の残高は、25,810千円減少して、187,927千円となりました。この主な要因は、資金調達により長期借入金が3,130千円増加した一方で、社債の償還により社債が30,000千円減少したことによります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末より534,971千円増加して、1,146,211千円になりました。この主な要因は、有償一般募集による払込を受けたことに伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ197,340円増加、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が148,940千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回発表（平成26年12月17日「平成27年3月期 第2四半期決算短信」）の予想数値を変更しています。詳細につきましては、本日（平成27年2月10日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	453,232	700,852
売掛金	424,053	376,269
商品及び製品	217,335	273,625
原材料及び貯蔵品	380,616	939,405
その他	59,640	53,986
流動資産合計	1,534,878	2,344,139
固定資産		
有形固定資産	45,085	46,732
無形固定資産	9,860	7,071
投資その他の資産	40,890	189,537
固定資産合計	95,835	243,341
資産合計	1,630,714	2,587,480
負債の部		
流動負債		
買掛金	338,854	308,252
短期借入金	200,000	600,000
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	25,364	148,120
未払法人税等	90,546	47,200
役員賞与引当金	6,047	2,900
賞与引当金	11,304	6,561
その他	103,622	110,307
流動負債合計	805,737	1,253,342
固定負債		
社債	55,000	25,000
長期借入金	148,310	151,440
資産除去債務	10,427	11,487
固定負債合計	213,737	187,927
負債合計	1,019,475	1,441,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	166,000	363,340
資本剰余金	204,485	401,825
利益剰余金	221,689	370,630
株主資本合計	592,174	1,135,795
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	19,064	10,415
評価・換算差額等合計	19,064	10,415
純資産合計	611,239	1,146,211
負債純資産合計	1,630,714	2,587,480

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	2,646,936
売上原価	1,641,357
売上総利益	1,005,578
販売費及び一般管理費	946,606
営業利益	58,971
営業外収益	
受取利息	68
為替差益	42,592
デリバティブ評価益	148,613
その他	675
営業外収益合計	191,950
営業外費用	
支払利息	5,873
株式交付費	6,781
その他	1,112
営業外費用合計	13,768
経常利益	237,153
税引前四半期純利益	237,153
法人税、住民税及び事業税	86,050
法人税等調整額	2,162
法人税等合計	88,213
四半期純利益	148,940

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年12月17日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場するに際して、平成26年12月16日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による払込を受け、新株式100,000株の発行を行いました。

この結果、当第3四半期累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ197,340千円増加し、当第3四半期会計期間末において、資本金が363,340千円、資本剰余金が401,825千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

当社は、輸入食品製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。